⑥資料２

【第３次行動計画】角田中学校と北角田中学校の再編・統合に向けた諸課題について

Ⅰ 人口減少・少子化に伴う生徒数の減少トレンド

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
角田中	484	435	421	383	384	357	325	306	287	276	245	212	189
北角田中	179	175	158	151	130	132	139	144	143	133	133	136	123
計	663	610	579	534	514	489	464	450	430	409	378	348	312

メリットの一例

・学習指導等において、個に応じたきめ細やかな指導ができる。
・生徒相互の交流や理解が十分に行える。
・保護者間の連携が図り易い。

デメリットの一例

・競争が少なく、多様な価値観が育ち難い。
・自分の希望する部活動ができない。
・教員の層が薄くなり、専門以外の教科・分野を担当することになる。

Ⅱ 校舎・体育館等の老朽化

角田中学校校舎

構造躯体以外の健全性評価において、屋上及び屋根が「C」判定。

築 59 年

角田中学校体育館

ギャラリーの窓ガラスの割れやひび、アリーナ等で雨漏りが発生。

築 51 年

北角田中学校体育館

構造躯体以外の健全性評価において、外壁及び内部仕上が「C」判定。

築 57 年

Ⅲ 人口減少・高齢化の進行と今後の財政運営

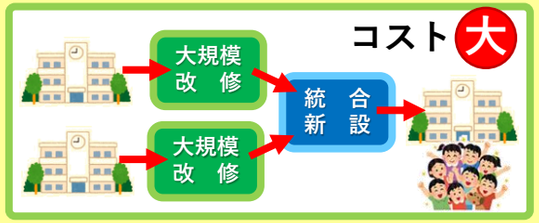
税収減・交付税減

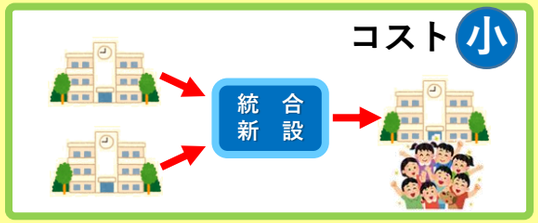
社会保障費の増

大規模ハード事業を行うためには…

基金の積立て

支出の最小化





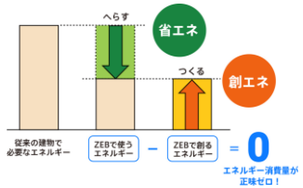
Ⅳ 新たな時代に適合した教育環境の整備

バリアフリー化

インクルーシブ教育（障害の有無等にかかわらず、多様な子どもたちが共に学ぶことを目指す教育）の推進及び災害時の避難所機能の確保等に向けた学校施設のバリアフリー化（エレベーター、多機能トイレ、スロープ等の設置）を推進。

ＺＥＢ化

省エネルギー（二重サッシ・高効率空調機・LED照明等）＋創エネルギー（太陽光発電等）を組み合わせて施設のエネルギー消費量を削減。



熱中症対策・洋式化等

近年の酷暑による熱中症事故防止を図るため、教室等だけでなく、体育館へも空調設備を設置するほか、コロナの教訓等を踏まえ感染症対策を図るため、トイレの洋式化・乾式化を推進。